

中国地方バイオネットワーク受託解析サービス相互利用に関する打ち合わせ会

2016年1月21日（鳥取大学）

鳥取大学で行われた中国地方バイオネットワーク受託解析サービス相互利用に関する打ち合わせ会に参加しましたので、その内容について報告します。

国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議は、

- 鳥取大学 生命機能研究支援センター 遺伝子探索分野
- 島根大学 研究・学術情報機構 総合科学研究支援センター 遺伝子機能解析部門
- 岡山大学 自然生命科学研究支援センター ゲノムプロテオーム部門
- 広島大学 自然科学研究支援開発センター 遺伝子実験部門
- 山口大学 総合科学実験センター 資源開発分野 遺伝子実験施設

から構成されており、中国地区における国立5大学間連携による遺伝子組換え安全管理・技術支援の推進を目的とします。この5大学を対象に2014年度より各構成大学が次の受託解析サービスを行っております (<http://grc2.med.tottori-u.ac.jp/bionet/jutaku.html>)。

- 鳥取大学 セルソーター受託解析サービス
- 島根大学 共焦点レーザー顕微鏡受託解析サービス
- 岡山大学 MS受託解析サービス
- 広島大学 電子顕微鏡観察受託サービス
- 山口大学 次世代シーケンサー受託解析サービス

今回の打ち合わせ会では、各構成大学の担当教職員が参加し、受託解析サービスの利用率向上のための今後の改善策について話し合い、

- HPやリーフレットなどを使い、受託サービスの宣伝活動を強化する
- 中国地方の国立5大学以外に、地元企業からの受託も検討する。
- 中国地区の国立5大学が一体でサポートし、持続可能なサービスを展開する。
- サンプルの受け入れや解析結果の評価をより容易にする必要がある。

などの意見が各大学から出されました。これに基づき今後の具体的な行動について検討し、

- ホームページの更新
- 中国地方バイオネットワーク受託解析サービス相互利用のリーフレットの作成
- 中国地方バイオネットワーク受託解析サービス相互利用説明会の開催

などが決まりました。7月1日に5大学の受託解析サービス担当者による説明会が本学（松江・出雲）で開催されます。今後も一層効率的で利用率の高い受託解析サービスを展開できるように中国地区国立5大学が一体となって推進する必要があると思われま（西村記）。